



櫛友会報

行都立
久留米西高等学校
窓会
0424(74)2661-3

二十周年を終えて 新たな前進のために

校長 原口幸男

原動力となる 「知恵」と「思いやり」

会長 小田切 幸久

昨年は、本校にとつての大きな節目であった。二十周年の記念式典では、櫛友会の皆さんに大変お世話になつたことを、遅れ馳せながらこの紙をお借りして、改めて厚く御礼申し上げる次第である。

十一月六日(土)に行われた式典では、櫛友会を代表して会長の小田切幸久君に祝辞を頂戴し、また、お忙しい中同窓諸氏には、式典及び祝賀会に多数かけつけて頂いた。式典に統いて行われた記念行事には、十回生の井口孝子さんにはピアノ演奏を、十六回生の阿部仁美さんは日本舞踊を、ともに式典に文字通り花を添えて頂いた。プラスバンドの演奏には、多数のO.B.・OG諸氏が参加した。

創立三十周年記念誌の『波播蘇』の表紙絵も十回生の徳永陶子さんの作品で、実行委員会の先生方が全員一も二もなくこの作品にきめたことを昨日のように思い出す。原画は、お母様にお願いしてパリのご本人から学校に寄贈を頂いた。本校の歴史

を物語るもの一つとして永く本校に伝えられるものとなることを私も大変喜んでいる。

さて、同窓生諸君に報告したいもう一つの事は、この二十周年を機として、本校の施設・設備の大改修が行われることである。この

都の大規模改修事業によつて、校舎、体育館、ブール、グラウンド、門、フェンス等のすべてにわたつて、それこそ建物でいえば、柱と窓ガラス以外は床から壁、天井に至るまで新しくしようというので、諸君の思ひ出の校舎が面目を一新してしまうのも、一面寂しい事でもある。

今後の更なる二十年を見据えて、いま設計段階に入つてゐるが、来年夏から着工の予定である。本校の今後の前進にぜひご期待を頂きたい。

米不足に沸き、猛暑、酷暑と、近年稀に見る異常渴水という事態が日本を飲み込んでしまつた夏も経て、やや落ち着いた感のする世間様ですが、まだ水不足が解消されない地域も少なくなく、逆に局所的な集中豪雨に見まわれた地域もあり、記録的という形容詞が乱発され続けています。今年ですが、会員の皆様は、いかがお過ごしでしょうか。

気候の歪みによる不便を強いられても、最後には人間の知恵と相互の思いやりが、頼りになるものです。わが校友会も創設20周年を目前に控え、原動力となる有志の知恵といやりを欲しています。定期総会等で皆様からお寄せいた多くの声を活かしながら、活



柔道部		剣道部	
個人戦		インターハイ支部予選	
高崎亮一	一回戦負	堀江修一	一回戦負
遠藤保昭	一回戦負	五十嵐謙一	一回戦負
佐々木裕子	一回戦負	佐々木裕子	一回戦負
団体戦	久留米西1—4聖徳学園	団体戦	久留米西1—4聖徳学園
個人の部	個人の部	個人の部	個人の部
永野武	一回戦負	永野武	一回戦負
小渕哲	一回戦負	小渕哲	一回戦負
渡辺大樹	三回戦負	渡辺大樹	三回戦負
塚田剛寛	一回戦負	塚田剛寛	一回戦負
団体の部	久留米西0—5早稲田実業	団体の部	久留米西0—5早稲田実業
個人の部	個人の部	個人の部	個人の部
吉田寿博	二回戦負	吉田寿博	二回戦負
中島郷史	二回戦負	中島郷史	二回戦負
井上克人	二回戦負	井上克人	二回戦負
渡辺大樹	二回戦負	渡辺大樹	二回戦負



ブラスバンド部
わがブラスバンド部は、約三十名います。現在は文化祭に向けて、夏休みに合宿などもあり、練習に励んでいます。十一月には、地区音楽会に出席する予定もあり、三月の下旬には定期演奏会を開催しますので、みなさん見に来てください。

体操部
春季学年別大会（二年）参加
河野奈々恵—床—10位 (6/19)
久留米西0—2中大附属
団体の部
大内亨一 不戦負

〈主な進学状況〉

※最近3ヶ年の合格者数（現役、浪人を含む。ただし、専門学校は平成6年合格者数。）

4年制大学	国士館	帝京科学技術	文京女子	短期大学	聖徳	武藏野
(国公立)	駒澤	5東海	6防衛大学校	(国公立)	星美学園	1武藏野女子
信州	埼玉工業	1東海女子	1法政	埼玉県立衛生	1高崎美術	1目白学園女子
東京芸術	2産能	1東京家政	1北海道東海	都立商科	1田中千代	1山村女子
東京水産	1湘南工科	2東京経済	8武藏	都立立川	1玉川学園女子	1立正
東京農工	1城西	2東京工科	3武藏工業	東京農業能力開発	2帝京女子	1
一橋	1城西国際	1東京国際	5武藏野音楽	(私立)	2帝京女子	2
高嶺経済	1女子栄養	1東京情報	1武藏野女子	青葉学園	1戸板女子	2
(私立)	1鈴鹿国際	1東京女子体育	3武藏野美術	青山学院	1東海	1
麻布	1駿河台	11東京造形	1明治	秋草学園	6東京家政学院	2
亞細亞	4成蹊	4東京電機	4明治学院	6星	1東京交大通	1
跡見女子学園	3成城	1東京農業	3明星	1亞細和	2東京女学館	1
大妻女子	1専修	7東京理	2白百合	1浦嘉	1東京女子体育	8
学習院	1創価	5東邦	2酪農	1大妻	1東京成徳	1
神奈川工科	4大正	3東洋	15立	1悦女	2東京農業	2
関東学院	5大東文化	9獨協	3立	17東横学園女子	1	
北里	3高千穂商科	3西東京科学	1流通経済	6トキワ松学園	1医療・福祉	3
京都産業	1拓殖	5日本	1酒	1日田	1	5
共立女子	2玉川	2日本工業	1相模女子	1相模女子	1教育・	3
杏林	2千葉工業	4日本獣医畜産	1日本女子	2日本女子	1体育系	6
国立音楽	1千葉商科	2日本体育	1淑徳	3日本女子	1栄養・	3
工学院	3中央	6白鷗	1白鷗	3白鷗女子	1調理系	7
国際基督教	1帝京	12文化女子	1ライオグランデ	1尚美学園	1芸術・	4
				3富士士	1服飾系	5
				1女子栄養	4文化女子	4
				1女子美術	1文理情報	7
				1白梅学園	5その他	4
				1宝仙	1合計	38
						45

現在、本校が指定校となっている大学・短大は次の通りです。

中央大学(1)、東京女子体育大・短大(あわせて4)、嘉悦女子短大(2)、文理情報短大(1)、亞細亞大短大(1)、白梅学園短大(1)

現況報告

94
年
度

◎転任された先生

青柳健太郎（数学）

青柳健太郎（数学） 小松川高校
宮島勝則（物理） 戸山高校（定

宮島勝則（物理）
稻川隆之（化学）
戸山高橋（定）
淵江高校

稻川隆之
（化学） 濵江高校

窟寺幸江（生物）四谷商業高校
関口曉子（英語）武藏高校（定）

関口暁子（英語）武藏高校（定）
三橋立次（理斗功三）東大田高校

三橋立次（理科助手）東大和高

着任された先生

加藤尚彦（国語） 文京高校

曾根弘幸（数学） 杉並工業高校

曾根弘幸（数学）校立工業高校
西水流修一（物理）砂川高校

西水流修一（物理）砂川高校
鈴木弘幸（化学）杉並高校

鈴木弘幸(化学) 杉並高校
黒田尊子(生物) 東北高校
(定)

黒田淳子（生物） 杉並高校（定）
椎名恭子（英語） 筑波大附属養護

椎名恭子（英語）筑波大附属養護

学校

一八四三
四
清

十八回生 和氣清孝

月日が過ぎるといふのは、早いものである。卒業して約半年、新しい生活を始めて半年、回りを見れば季節も環境も変わつてしまつてゐた。今は今、往々後輩生徒にて所し、

生活を送っている。病院勤務も兼ねて居るので、病院に居る時間が結構長い為、いろいろな事が経験できるのである。

先日、急患が搬送された。DOA（心肺停止状態）患者である。すぐ
に処置を施したが患者は間もなく息

十七期 加藤敬

を引き取った。患者が来るまでの自分は、半分好奇心と恐怖心の葛藤が起きていた。しかし、いざ处置に入つた自分は、必死だったと後で気づくほど、何も考えていなかつた。それは、GW前日の出来事であつた……。

私にとって、生涯忘れる事のできない「あの日」。「数日しか過ぎてないのにこのような体験をすることは君、運がいいよ。」と先輩は言う。しかし、全然悲しくもなく涙も出てなかつた自分は後日、その日の重要さに気づくのである。

今、自分は病院のナースステーションで、モニターの音を背にしながら書いている。今日は日曜日。仕事である。患者さんも今日一日元気には過ごして欲しい。

引き取った。患者が来るまでの自分は、半分好奇心と恐怖心の葛藤が起きていた。しかし、いざ处置に入つた自分は、必死だったと後で気づくほど、何も考えていなかった。それは、GW前日の出来事であった……。

私にとって、生涯忘れる事のできない「あの日」。数日しか過ぎてないのにこのような体験をすることは君、運がいいよ。と先輩は言う。しかし、全然悲しくもなく涙も出てなかつた自分は後日、その日の重要さに気づくのである。

今、自分は病院のナースステーションで、モニターの音を背にしながら書いている。今日は日曜日。仕事である。患者さんも今日一日元気には過ごして欲しい。

西高在学時には野球部に所属していましたので、同級生の同窓会委員に思い出を書いてくれと頼まれた時に二つ返事をしたものの、正直言つて、思い出と言える程の出来事は有りません。とにかく毎日が野球で明けて野球で暮れていた様な気がします。でもその生活の中から大切な事

十七期 加藤 敬

自分は、現在一年間の浪人生活を経て第二志望であった駒沢大学に通っています。

西高在学時には野球部に所属していましたので、同級生の同窓会委員に思い出を書いてくれと頼まれた時に二つ返事をしたものの、正直言つて、思い出と言える程の出来事は有りません。とにかく毎日が野球で明けて野球で暮れていた様な気がします。でもその生活の中から大切な事

野球を通して学んだ事については、この少ないスペースでは到底書ききれないでの全部は書きません。前述した様に自分は浪人して人並みに勉強をして大学に合格しました。一年間の浪人生活において大きな支えとなつたのは、やはり西高野球部の檀原先生の教えでした。それは、自分に勝つ、という事、そしてもう一つは自分自身で学び得たものである自分自身の可能性を信じるという事でした。この二つの支えがあつたからこそ好きでも無い勉強を三六五日欠かさずに続けられたのだと思いまます。自分の野球部での三年間は決して楽しいものでも輝かしいものでもありませんでした。ずっと足のケガに悩まされ結局選手としての活動をあきらめざるを得ませんでした。

退部まで考えていましたが、そんな時に声を掛けてくれたのが当時のエース投手でした。彼の一聲が無かつたら、退部していたと思います。そんなん人の心の痛みの分かる仲間を得たのも野球部に居たからだと思います。以来その投手と二人三脚で夢の大舞台を目指しましたが、力及ばず最後の選手権大会予選は三回戦で涙を飲みました。しかし、遙かに力及

編集後記

橋友会報第五号が発行できました。これを皆様の目でみてもらい、母校である久留米西高の想い出をふり返つていただけましたら幸いです。今回の編集に際しましては、ご無理を承知でありますながらも、寄稿を引き受けた下さった方、並びに編集に良き助言をしていただいた先生方に厚く御礼を申し上げます。



ぱずには夢は破れましたが、最後まであきらめずに夢に向かって精進する大切さ、そして選手では無くとも、自分にも何かできるという、自分の可能性を信じてみるという貴重な体験ができました。これからもその教訓を生かし生活していきます。